

笑顔と誇りを未来へつなぐまち 飯南

IINAN

未来
を
つな
ぎ
ま
す
の
飯南町

い-なん

2025

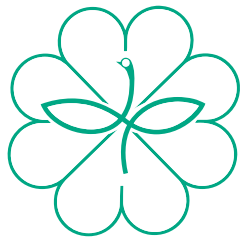
12

No.252

特集 住みやすい地域へ あなたを見守る民生・児童委員



新たな地域交流拠点が誕生した三日市連坦地



民生委員・児童委員に関して知りたい方は、保健福祉課までお問合せください。

問合せ
保健福祉課
72・1770

熊谷 利夫(花栗)
三原 愛子(長谷・寺沢)
佐々木 千穂(上赤名)
和田 明子(中市)
月森 房江(下市)
品川 辰朗(東区・千束)
横貝 忠良(中通・石次・福田)
高橋 浩文(上来島)
山崎 智恵美(小田)
倉橋 宣(琴麓・塚原・三田市)
原 通博(保賀・松本中部)
玉野 厚美(志々区域)
田原 明美(赤名・谷区域)
飯島 良子(来島区域)

民生委員・児童委員として、地域のために尽力された次の皆さんが退任されました。(敬称略)

●お世話になりました

民生委員・児童委員が改選されました

厚生労働大臣と島根県知事から、下記の皆さんが民生委員・児童委員の委嘱を受けました。



朝山 登美子
(都加賀)



深石 光昭
(上区)



那須 久三
(奥畑)



熊谷 高暢
(上町)



佐和田 裕
(下町)



渡邊 泰知
(花栗)



奥野 恵子
(長谷・寺沢)



板垣 正行
(敷波)



長島 伸江
(佐見)



菅 龍昭
(獅子・川東)



大谷 功誠
(川西)



藤原 時子
(志津見)



大谷 善啓
(角井)



岡本 玲子
(上赤名)



岩佐 実
(向谷・上市)



澤田 郁子
(中市)



田村 利哉
(下市)



木村 毅
(東区・千束)



明見 壽夫
(中通・石次・福田)



才間 良成
(上来島)



鹿田 昌宏
(真木)



榮 俊英
(小田)



田部 正子
(琴麓・塚原・三田市)



安部 健
(野萱・下三田市)



宇治田 厚信
(保賀・松本中部)



田邊 佐由利
(松本西部・川尻)



加藤 恭司
(塩谷)



門脇 順子
(井戸谷)



中祖 美也子
(畑田)



岡田 由美
主任児童委員
(志々区域)



渡邊 陽子
主任児童委員
(頓原区域)



薬師寺 知恵
主任児童委員
(赤名・谷区域)



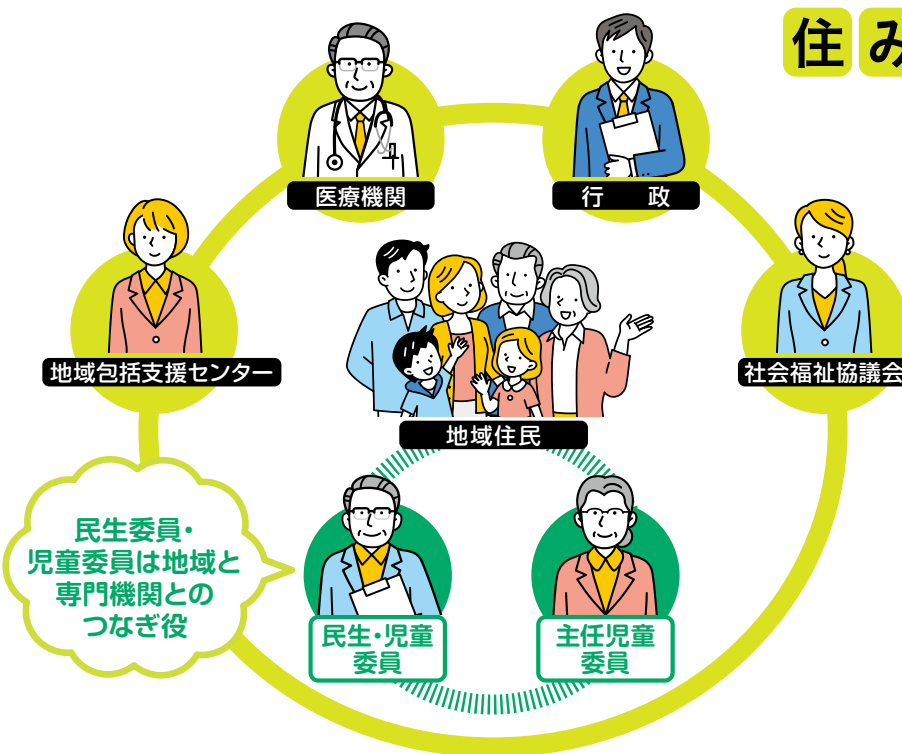
矢飼 斉
主任児童委員
(来島区域)

住みやすい地域へ

あなたを見守る 民生委員・児童委員

地域の身近な「相談相手」として活動する、民生委員・児童委員。令和7年12月1日からの3年間を任期とする新たな委員が選出され、本町では、33人の委員に委嘱状の伝達を行いました。

このたび委嘱を受けた民生委員・児童委員のご紹介と、委員の活動の様子を取り上げます。



見守り、寄り添う

民生委員・児童委員は、地域住民が安心して暮らせるように寄り添うボランティアです。地域住民の生活上の相談に応じて助言をすることや、高齢者世帯、子育て世帯などへの訪問や見守りで、安心・安全な生活ができていくかの確認を行います。子どもたちの安全を守るための登下校時のあいさつ運動なども、主な活動の一部です。

本町では、地区を担当する29人と主任児童委員の4人の合わせて33人が民生委員・児童委員として活動しています。

民生委員・児童委員がどのような活動をされているのかを、令和元年から塩谷地区で委員を務めている加藤恭司さんに伺いました。

自分のできる範囲で

地域住民から相談を受けたときは、適切な支援やサービスを受けられるよう行政や社会福祉協議会などの関係機関につなぐなど、委員自身の立



あいさつだけでなく、ちょっとしたコミュニケーションも

場や経験から、できる範囲で必要に応じた助言やサポートを行います。

谷自治振興会の活動も積極的に取り組んでいる加藤さん。同振興会が行う谷地区全体の防災の取組を、民生委員・児童委員として地域住民に情報提供することも、「谷自治振興会と協力し、連携した情報提供ができることが強み」と話します。

さらに、谷地区のイベントに参加した子どもたちが、登下校の見守り活動で顔を合わせると声をかけてくれるなど、うれしい輪の広がりもあると言います。

あくまでも“つなぎ役”

「できることをする。できな

いことはしない」。

民生委員だからといって、地域住民からの相談のすべてを自分が解決しようとは思っていないと言います。何か相談事がないかと自分から聞いて回るのではなく、「日常の会話の中で出てきた疑問や悩みを聞き、必要であれば関係機関につなぐ。日頃から、近所の人を見かけたらいさつや雑談をすることを大切にしています」と加藤さんは話します。

地区内のことを自分一人でもやろうと思うと、負担や責任が増え、解決の糸口を見失ってしまうことも。区内でお互いに見守り支えあうことができれば、さらに住みやすいまちになるのではないのでしょうか。

民生委員・児童委員は、一人一人が担当する地区が決まっています。地域住民の小さな変化に気づき、地域やまちのことをよく知っている人です。

暮らしの中で困ることがあれば、皆さんの地区の民生委員・児童委員に相談してみてもいいでしょうか。



来島公民館主催の「おせち料理練習会」が来島交流センターで開催されました。

来島公民館運営協議会の発案で初めて開催。作るのが難しい、手間がかかるというイメージもあるおせち料理ですが、手作りに挑戦してみようという企画です。

参加者は栗きんとん、たたきごぼう、昆布巻きなど計5品を、手際よく作りました。

完成したおせち料理は昼食として試食。参加者からは「お正月に向けて家でも作ってみたい」との声が聞かれました。



味付けのポイントなどお互いに教え合いながら料理を作りました



手づくりおせちで新年を迎える おせち料理練習会

12.6
土

飯南に残る歴史の痕跡
来島地域のかんな流し

きじま里山講座「来島地域のかんな流し」が開催され、12人が参加しました。

かんな流しとは、たたら製鉄の原料となる砂鉄を採るため、土砂を水路に流し、砂鉄と土を分離する技術。雲南市文化財課の角田徳幸さんを講師に、かんな流しに使われた水路跡がある琴麓周辺の山中を散策しました。大規模に組まれた石垣や水路が現れると、参加者からは驚きの声が上がりました。

参加者の一人は「身近なところに歴史を感じる場所があると知れてよかった」と話しました。



講師の角田さん(左端)と興味深く遺跡を観察する参加者



飯南に残る歴史の痕跡 来島地域のかんな流し

11.26
水



茶道で育む感謝の気持ち
たんぽぽ畑茶道教室

頓原地区の放課後児童クラブ「たんぽぽ畑」で茶道教室が行われました。

たんぽぽ畑では、日本文化に触れながら育ってほしいという目的で、毎月1回茶道教室を実施しています。

子どもたちは扇子を手に、慣れた様子で茶室に入り、床の間を拝見。次の所作を一つずつ確認しながら、お抹茶を頂きました。

約20年前から茶道を教えている茶道教室会員の皆さんは「大人になってお抹茶を頂く機会があったとき、ふとこの体験を思い出してくれるとうれしい」と話しました。



「お点前頂戴します」「温かくておいしい」と元気な声が響いていました



茶道で育む感謝の気持ち たんぽぽ畑茶道教室

11.21
金

自慢の料理を囲んで交流
志津見収穫感謝祭

志津見振興組合が主催する毎年恒例の「志津見収穫感謝祭」がクラインガルテンクラブハウスで開催されました。

この収穫祭は、自然の恵みに感謝するとともに、地域住民やクラインガルテン入居者などの親睦を深めることを目的に開催。国土交通省、島根県、飯南町の職員なども出席し、会場に並んだ地域の皆さんの自慢の品などおいしい料理を食べながら交流しました。

懇親会では楽しい余興も披露され、会場には笑い声や拍手が響きました。



住民によるダンスの披露などで会場は盛り上がりました



自慢の料理を囲んで交流 志津見収穫感謝祭

11.15
土

安心して暮らし続けるために
災害に強い支え愛づくり研修会

住みよい地域・頓原会議主催の防災研修会が、交流センターとんばらで開催されました。

防災士でもある島根県中山間地域研究センターの東良太研究員が、防災の視点から考える地域づくりを講義。安心して暮らし続けるためには、日頃から近所同士の声かけや、つながりづくりが大切だということ学びました。

研修会には頓原地区の自治会長など19人が参加。参加者は「いざという時のために、災害への備えを見直したい」と話し、改めて防災を考える機会となりました。



防災には普段からの地域住民の話し合いが大切



安心して暮らし続けるために 災害に強い支え愛づくり研修会

12.9
火

新年に向けた手仕事
しめ縄づくり教室

赤名公民館主催の「しめ縄づくり教室」が赤名農村環境改善センターで開催されました。

講師を務めたのは、長年しめ縄づくりを行っている藤原恒夫さん(赤名)。参加者は藤原さんにコツを教えてもらいながら藁を撚り合わせ、新年を迎えるためのしめ縄を作成しました。

大きな3連の輪飾りや大黒締め、手のひらサイズのミニしめ縄など、参加者は思い思いの形のしめ縄を作成。「自分の作ったしめ縄で新年を迎えることができうれしい」と話しました。



真剣な表情で作業を進める参加者



新年に向けた手仕事 しめ縄づくり教室

12.7
日

手作りの灯りで地域を照らす
竹灯籠づくり

志々地区の地域活動に取り組む「志々未来会議」主催の竹灯籠づくりが、さつき会館で開催されました。

参加者は竹筒にドリルを使って穴を開け、火花などの図柄を描いた竹灯籠を作製。約20人の参加者は、真剣な表情で作業に集中していました。

参加した子どもたちは「たくさん穴を開けないといけないので大変。でも楽しい」と話していました。

作製した竹灯籠は12月6日から志々未来ひろば(さつき会館横)で開催の志々イルミで披露され、見物客を楽しませました。



完成を楽しみにしながら根気強くたくさんの穴を開けます



手作りの灯りで地域を照らす 竹灯籠づくり

11.24
月祝

お芋料理をみんなで囲む
秋のおいもまつり

谷自治振興会主催の「秋のおいもまつり」が、谷笑楽校で開催されました。

谷地区で栽培されたサツマイモをきっかけに、住民の交流やつながりを深めるこの企画。サツマイモ料理の完成を待つ間、会場では防災に関するクイズやゲームで、子どもから大人までが盛り上がりました。

お待ちかねの屋食は、サツマイモや野菜がたっぷり入った豚汁にサツマイモごはん。お芋餃子やデザートも用意され、おかわりをする子どもたちの行列ができていました。



谷地区へ移住した方の紹介もあり和やかな雰囲気の食事会



お芋料理をみんなで囲む 秋のおいもまつり

11.22
土

高齢者叙勲

●高齢者叙勲旭日章

仁井康富さん(上赤名)

仁井さんは、昭和56年1月から平成16年12月までの7期24年6カ月にわたり、赤来・飯南町議会議員として地方自治の発展に貢献。

豊富な経験と卓越なる見識と、強固な政治信念をもって、赤来町・飯南町の教育、文化、住民福祉等の向上に注力され、本町の発展に寄与されました。



丸山知事から仁井さん(写真右)に伝達されました

●高齢者叙勲瑞宝章

石田一秀さん(上赤名)

石田さんは、昭和37年に島根県に奉職して以来約36年間、農業改良の普及・指導に打ち込み、津和野農業改良普及所長、出雲農林振興センター農業振興部長、木次農業改良普及センター所長等を歴任。

島根県の農業行政の発展に大きな功績を残されました。



勲記を手にする石田さん

優良公民館職員表彰を受賞

公民館活動の振興に顕著な功績があったとして、次の公民館職員が、島根県教育委員会教育長から表彰されました。

●来島公民館

館長 安部和昭さん

安部さんは、多様な立場の住民が公民館事業に参画できるよう、効果的に事業を計画・実施。

令和2年に来島拠点複合施設(来島公民館併設)が開館後は、気軽に施設を利用できるよう関係団体に働きかけ、施設の利用、運営の改善を図っています。

●赤名公民館

館長 石見源二さん

石見さんは、コロナ禍で縮小傾向にあった地区運動会の実施方法を変更し、地域住民が参加しやすい工夫や考慮を重ね実施。

赤名公民館運営協議会を年5回開催し、運営協議会委員の活動の活性化を図っています。



左から石見館長、高橋主事、安部館長

●谷公民館

主事 高橋利英さん

高橋さんは、谷公民館と谷自治振興会が連携し、地域課題解決等に取り組めるよう事業を計画、実施。

既存事業を実施する際も、常に新しい仕組みや工夫を取り入れ、事業内容の改善を図っています。

税の役割や大切さを学ぶ 税に関する絵はがきコンクール

「税に関する絵はがきコンクール」は、税金が私たちの暮らしにどのように役立っているのか、税の意義や役割などを理解し、その必要性や使い道について考えてもらうため、小学生を対象に毎年実施されています。

今年は大東税務署管内から405点の応募があり、町内から9人が表彰されました。受賞者は次のとおりです。

【コンクール受賞者】

●雲南青色申告会連合会長賞

澤田 七彩さん(来島小6年)

●飯南町長賞

吾郷 柚来さん(来島小5年)

●飯南町教育長賞

日高 愛夢さん(頓原小6年)

●飯南町青色申告会長賞

橋村 希さん(頓原小6年)

●雲南法人会飯南支部長賞

田邊 潤さん(赤名小6年)

●入選

石飛 逢和さん(頓原小6年)

中川 結衣子さん(志々小5年)

石田 鈴夏さん(赤名小6年)

山田 朔也さん(来島小5年)



飯南町長賞 吾郷 柚来さん



雲南青色申告会連合会長賞 澤田 七彩さん



作品は町ホームページに掲載しています。

中学生が 飯南町をPR

11月14日(金)

赤来、頓原中学校の生徒が、交流体験学習(修学旅行)で訪れた神奈川県横浜市の商店街で、PR活動を行いました。

特産品や地域の魅力を自分の言葉で伝えることで、ふるさとに対する理解と愛着を深めることや、販売活動を通してお互いに協力する力を育むことが目的。飯南米やしめ飾り、りんごジュースなどを販売し、生徒たちは商店街中に響く声で接客や販売活動を行いました。生徒の実行力や発信力を培う良い機会として、今後も販売体験活動が続けていきます。



商品のおすすめポイントをしっかりと伝えました

飯南町の食材を 給食で

11月1日(土)～30日(日)

島根県では、6・11月を「しまね・ふるさと給食月間」とし、学校給食に地域でとれた食材や食品を取り入れる取組を行っています。

11月には、町内でとれた舞茸、焼きいも、豆腐などを使った給食を町内の小中学校で提供。11月26日には飯南高原ポークの南蛮漬けが出され、給食時の放送でも紹介されました。

給食を教材とした食に関する授業や、地域の旬の食材や生産者を紹介するなど、食育の取組にも力を入れています。



「豚肉がやわらかく、ごはんが進む味でおいしい」と笑顔(11月26日来島小)



活動報告を受けそれぞれの立場から地域課題の解決に向けたアイデアを考える参加者

町内の保健、医療、介護、福祉関係者を招き、飯南町地域ケアフォーラムを開催しました。

「ひと×地域 connect」をテーマに介護士、医師などが日頃の活動や事例を発表。姉妹病院である京丹後市立久美浜病院の理学療法士からも取組発表をいただきました。

第2部では「わっしょい志々会」が、地域の多様な関係者と連携して行う「声がけ訪問」などの活動を報告。参加者は地域課題解決に向け、人のつながりをどう活かすかを話し合いました。

多様な職種での情報共有や意見交換が、地域包括ケアの推進の基盤となっています。

飯南町地域 ケアフォーラム開催

11月29日(土)



飯南米試食では「いつも飯南米を買っています」と嬉しい声も(東京会場)

食や文化をきっかけに、まちのファンを増やすことを目的に、AKOMEYA TOKYO(神楽坂店(東京都))、広島駅ビル minanoa(広島市)で「飯南町収穫祭」を開催しました。

飯南米の試食や特産品の販売では、生産のこだわりやおいしさの秘訣を丁寧に説明。しめ縄飾りづくり体験は、まちの歴史や文化を知ってもらい、きっかけとなりました。

両会場とも1日目夜に、町出身者や縁のある人との交流を深める「だんだん祭」を開催。特産品を使った料理を囲みながら、まちについて語り合い、つながりを深めました。

まちの魅力に共感し、町外から飯南町を応援してくれる人々との関係が深まっています。

飯南町 収穫祭を開催

11月15日(土)・16日(日) 東京
12月6日(土)・7日(日) 広島



靴磨き職人 安部春輝さん、モデル みさとさん(いずれも町出身者)によるトークイベント(広島会場)



だんだん祭(東京会場)では飯南高校卒業生がクイズやワークショップを企画



しめ縄職人の技に感嘆の声が上がりました(東京会場)



川尻公民館

電源立地地域対策交付金を活用して、町有地の川尻公民館の敷地を整備しました。

この交付金は、発電用施設の設置に対する理解促進を目的に、水力発電などの発電施設がある市町村に対し交付され、公共施設の利便性向上や地域住民の福祉向上のために活用されます。

今後この交付金事業を活用し、地域の施設整備などを行います。

電源立地地域対策 交付金事業で 公共施設の敷地を整備

エコロジー米の生産拡大を目的とした「第16回飯南町エコロジー米生産者大会」を来島交流センターで開催しました。

東京農工大学 豊田剛己教授の飯南町の水稲調査に関する講演や、JAしまねからの、米穀情勢や飯南米の流通状況に関する情報提供が行われました。

今大会に合わせて、特別栽培米のブランド化と栽培技術の向上に役立てるため「第18回うまい米コンテスト表彰式」を開催。コンテストの受賞者は次の皆さんです。(敬称略)

●受賞者

【金賞】

株式会社ファーム木精(奥畑)

【銀賞】

山戸米吉(角井)

【銅賞】

農事組合法人晴雲(花栗)



副町長から受賞者へ賞状が渡されました



飯南米普及に向け、多くの生産者が参加

エコ米生産者大会・ うまい米コンテスト表彰式を開催

11月27日(木)

新農業人フェア 出展

11月23日(日)



手厚い研修制度や就農支援施策について説明

「新農業人フェア」が東京ビッグサイトで開催され、本町も相談ブースを出展しました。

国内最大級の就農イベントで、全国各地から自治体や農業法人などが出展。来場者は各ブースで就農支援制度や農業研修制度などについて相談していました。

本町は産地化を目指すパプリカによる就農や農林業定住研修制度を中心に説明し、移住検討者の獲得を図りました。

県外での移住相談や情報発信の機会を設け、移住促進や町外からの就農者誘致につながっています。



「普段あまり関わらない人の思いを聞けてよかった」との声も

人材育成講座「レゴ®シリアスプレイ®」ワークショップを来島交流センターで開催しました。

このワークショップは、レゴブロックを使って、思いやビジョンを自分の言葉で相手に伝えるもの。10年後の飯南町に残しておきたいこと「10年後のために明日からできること」をテーマに、対話をしながら他者の価値観を尊重する視点を持つことを学びました。

この講座を通して、対話の重要性を実感し、地域活動や交流が積極的に生まれることを期待しています。

レゴブロックを使った 研修会を開催

11月29日(土)

健康コラム

healthycolumn

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

飯南病院 便り

冬のレジャーを楽しむために



初期臨床研修医
松江赤十字病院
よこ はた まい
横畑 舞

初めまして。松江赤十字病院から来ました、研修医の横畑舞と申します。私は幼いころからスキーをしており、琴引フォレストパークスキー場へも何度か滑りに来たことがあります。そこで今回は、ウィンタースポーツで多い怪我と、その予防についてご紹介しようと思います。

怪我の種類について、スキーでは転倒やねじれによる膝の靭帯損傷(特に前十字靭帯損傷)が多くみられます。一方でスノーボードでは、手をついた際の手首の骨折や、肩の脱臼が代表的です。これらの怪我は手術や長期のリハビリが必要になる場合があります。できれば怪我をしないように、また怪我をしても軽症で済むように予防したいですね。

ウィンタースポーツの怪我予防について、まずは身体に合った道具選びが重要です。スキー板やスノー

ボードの長さ、ビンディングの設定、ブーツのサイズが体格や技量に合っていないと、転倒時に過剰な力が関節にかかったり、安全装置がうまく作動しなかったりすることがあります。特にスキーではビンディングの解放値が重要です。必ず専門スタッフに設定を確認してもらいましょう。そしてブーツの正しい履き方や道具の持ち方なども、専門のスタッフに教えてもらうといいと思います。

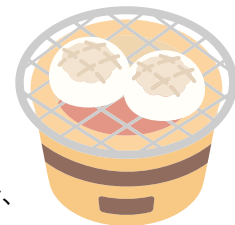
また、防具の着用も効果的です。ヘルメットは万が一の転倒時の頭部への衝撃を大きく減らし、軽傷で済ませる効果があります。頭部外傷は命にかかわる場合があるため、ぜひヘルメットの着用を習慣にしましょう。そして忘れがちなのがゴーグル。雪面からの紫外線反射は強く、無防備な状態では「雪目(紫外線角膜炎)」を起こし、数時間〜1日後に強い痛みや涙が出ることもあります。ゴーグルを着用し、眼の保護を心がけましょう。

身体に合った装備で、楽しい冬をお過ごしください。

保健福祉センター 便り

餅を美味しく食べましょう！

野菜摂取で血糖値を緩やかに

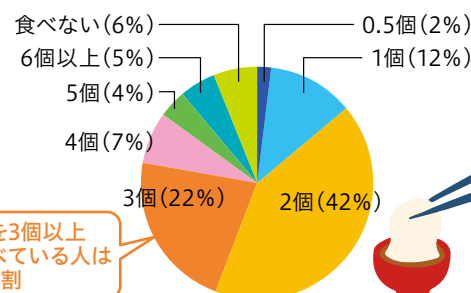


年末年始は、お雑煮や焼き餅など餅を食べる機会が増えます。餅は血糖値が上がりやすい食品の1つでもあります。しかし、野菜をしっかり食べることで、血糖値の上昇が緩やかになることがわかっています。

住民の皆さんにアンケートを取りました

令和7年度事業所健診(9月実施分のみ)、地域のイベント、健康にい〜にゃん相談会で皆さんにお聞きしました。

1回に何個餅を食べますか？



餅が血糖値を上げやすい理由

- もち米は消化が早く、食後血糖値が急に上がりやすい
- 餅2個(1個約50グラム)でごはん1杯分の糖質
- 柔らかく、噛まずに早食いしやすい

血糖値を安定させる食べ方のコツ

野菜と一緒に食べましょう！

- 野菜→たんぱく質→餅の順に食べる
- 野菜多めの副菜を添える

早食いに注意！

- しっかり噛むことを心がけましょう
- 1口食べたら箸を置いて、1呼吸
- 1食の餅の目安は1〜2個まで



おいしく餅を楽しみながら、野菜をしっかり摂ることで血糖値の上昇を防ぎ、健康的な食生活に！



来て、見て、知った！ 飯南町のこと(6)

新米としめ飾り

役場まちづくり推進課の神谷です。(株)AKOMEYA TOKYO(アコメヤ)から、国の企業人材派遣制度を利用して、昨年度から飯南町役場で勤務しています。

実りの秋になり、今年も飯南町で収穫された飯南米「コシヒカリ」と「縁結び」の新米が、アコメヤの全店に並びました。11月には、長谷宮農組合の和田幹雄さんに、神楽坂店、高輪店で試食販売をしていただきました。和田さんの人柄も大人気でしたが、それに負けず劣らず、恵まれた環境で栽培された飯南米の甘み、うまみに感動される方が多かったのが印象的です。

とうとう今年も残りわずか。昨年に続き、今年も飯南町大しめなわ創作館の皆さんに制作していただいた正月用しめ飾りを、アコメヤで販売しています。今年は、北は仙台、南は福岡

県の天神まで、全店舗で展開。飯南町に昔から伝わる”とろへい馬”を、来年の干支である馬と掛けてデザインし、さまざまな形に仕立てていただきました。9ページにも掲載していますが、イベントの時にはしめ飾りづくり体験も行い大人気。飯南町のしめ縄文化、来年の出雲大社神楽殿の大しめなわ架け替え決定といった話題で、飯南町を印象付けられたのではないのでしょうか。

丹精込めて作られた、飯南米としめ飾り。今回もたくさんの方の目に触れ、手に取ってもらい、飯南町に関心を持ってもらえることと思います。



生産者から直接おいしさを伝えてもらうことを大切に



外国の方で体験への飛び入り参加や、しめ飾りを購入する方も



みんなでつくる！

笑顔あふれる飯南暮らし

「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

第5回 雪と不安を吹き飛ばす ～除雪ボランティア団体を紹介～

今年も雪の時期がやってきました。昨シーズンの赤名の最大積雪深は94センチ。累計の降雪量は432センチでした。1月9日には、37センチの降雪があり雪かきに追われた記憶があります。近年は少なくなったとはいえ、ドカ雪と呼ばれる一度にたくさん降る雪に翻弄されることも多いような気がします。

今回は、この雪の時期に地域の安心・安全のために活動している、地元有志で結成された除雪ボランティア団体を紹介します。

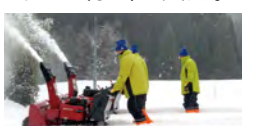
近年の降雪の様子(観測地点:飯南町赤名)

年 度	R6	R5	R4	R3	R2	H29	H22	H16
最大積雪深(センチ)	94	40	70	40	106	123	152	100
累計降雪量(センチ)	432	180	254	452	446	453	780	645
最大降雪量(日)(センチ)	37	26	36	29	48	60	52	35

スノーレンジャー谷(谷地区)

平成21年に住民有志で結成。隊員は15人(R7.12.1現在)。小型除雪機のほか、小型除雪ホイールローダ(4トン級)で谷地区内の高齢者宅や木戸道などの除雪を実施。

- 谷地区除雪の依頼はこちらへ
スノーレンジャー谷(谷地区)
☎76-3629(谷公民館内)



スノーヘルパー(赤名地区)

平成29年に住民有志で結成。隊員は68人(R7.12.1現在)。小型除雪機のほか、人力(スコップ)で赤名連坦地内の高齢者宅前、通学路等の除雪を実施。レディーススノーヘルパーは高齢者宅の見守り活動を実施。

- ボランティア活動に興味ある方、参加したい方はこちらまで
スノーヘルパー(赤名地区)
☎76-3100
(赤名農村環境改善センター内集落支援員)



自衛官候補生募集 (陸上・海上・航空)

- **応募資格** 日本国籍を有し、18歳以上33歳未満の人(採用予定月の末日現在)
- **試験種目** 筆記試験、適性検査、口述試験、身体検査、経歴評定
- **試験期日** (筆記試験・適性検査)※ウェブ試験方式
2月7日(土)
(口述試験・身体検査)2月14日(土)
- **試験会場** 陸上自衛隊出雲駐屯地
- **応募期限** 1月29日(木)
- 問合せ** 自衛隊島根地方協力本部募集課
☎0852-21-0015

営農と暮らしに役立つ農業専門紙 「全国農業新聞」

- 毎週金曜日発行
- 購読料 月700円(税・送料込)
- 問合せ** 農業委員会事務局 ☎76-2214

令和8年度「緑の募金公募事業」 実施団体募集

- 「緑の募金公募事業」は、皆さんからの「緑の募金」を活用して、地域の団体や学校などが、緑化活動に取り組む事業です。緑化活動を通じて「住みよい地域」の実現を目指す皆さんからの応募をお待ちしています。
- **対象事業**
 - ・森林整備事業：学校林整備など
 - ・環境緑化事業：地域の憩いの場の緑化など
 - ・緑化普及事業：イベント開催など
 - ・国際緑化協力事業：砂漠化防止など
 - **交付限度額** 50万円以内
※対象事業に応じて、補助率が異なります。
 - **応募期限** 令和8年1月30日(金)必着
※その他、詳細はお問い合わせください。
 - 問合せ** 公益社団法人
島根県緑化推進委員会
☎0852-21-8049



島根県
緑化推進委員会
ホームページ

年末年始の休業日

業務区分	休業期間など
役場本庁舎・各支所	12月27日～1月4日 ※緊急の連絡、戸籍に関する届出は休業中も受け付けます(本庁舎、頓原基幹支所のみ)
飯南病院・来島診療所	12月27日～1月4日 ※救急の場合は休業中も受け付けます(飯南病院のみ)
保育所	12月28日～1月4日
図書館	【中央館】12月29日～1月3日 【頓原館】12月27日～1月4日
いいしクリーンセンター	【直接搬入】12月27日～1月4日 【可燃ごみ収集】12月27日～1月4日 ※30日のみ収集有り
三刀屋斎場	1月1日～1月2日
町営バス	赤名吉田線は無休、 その他の路線は12月27日～1月4日

- ※年明けの可燃ごみ収集は、1月5日から。不燃ごみ収集は、各戸配布の収集カレンダーのとおりです。
- 問合せ** 役場本庁舎 ☎76-2211
頓原基幹支所 ☎72-0311

地域おこし協力隊と一緒に 地域活性化に取り組みませんか

- 町外から移住し活動する地域おこし協力隊員と共に、地域課題の解決や、新たな価値を生み出す活動などを実施したいとお考えの企業、団体はご相談ください。
- 【地域おこし協力隊とは】
都市部から人材を受け入れ、地域活性化に取り組む総務省の制度。隊員は受入団体や地域住民と協働し、「地域力の維持・強化に直接資する活動」「公益性のある活動」に取り組みます。
- **隊員が実施できる地域協力活動の例**
 - ・地域おこし支援(地場産品の開発、空き家利用など)
 - ・農林水産業(農作業支援、耕作放棄地再生など)
 - ・住民の生活支援(通院・買い物のサポート、見守りサービスなど)
- 活動内容や要件によっては、企業、団体への受入ができない場合もあります。詳しくはご相談ください。
- 問合せ** まちづくり推進課 ☎76-2864

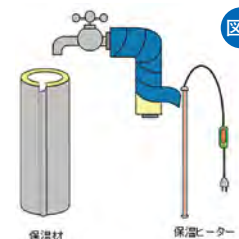
水道管の破裂事故に注意

毎年冬には、町内の多くの家庭で、水道管の凍結や破裂、漏水が発生しています。気温がマイナス4度以下になると、水道管凍結の危険性が増しますので、早めの対策をお願いします。

- **水道メーターから最も遠い水道の蛇口から少しずつ水を出す(図1)**



- **屋外配管は保温材で巻く(図2)**



- **水道管が凍結したら「ぬるま湯」でゆっくり温める(図3)**



- **長期間、家を留守にするときは止水栓を閉め、家の中の水道の蛇口を1カ所開ける(図4)**



- **漏水が疑われるときは、屋内外の全ての蛇口を閉めた状態で、水道メーターのパイロット(銀色のコマ)を確認する(図5)**



- **水道メーターはいつでも確認できる状態にする**
 - **留守宅がある場合は、地域でも確認をする**
 - **漏水した場合は、止水栓を閉めて水を止め、指定給水装置工事業者に修理を依頼する**
※水道メーターより宅内側は個人管理部分となります。
詳細はホームページをご確認ください。
- 問合せ** 建設課 ☎76-3942



町ホームページ

求 人 情 報

無料職業紹介所で受け付けた求人を紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所
(役場まちづくり推進課内)
☎76-2864
※表示のない市外局番は「0854」です

一覧はHPより
ご確認ください



(株)いいなん	72-1080
バイオマス製造機の製造、農作物栽培作業 普通自動車運転免許(AT限定不可) ◎日8,500円	パート 1人
一般廃棄物受託業務(家庭ごみ収集、分別作業) 普通自動車運転免許 ◎日8,500円～	フルタイム パート 1人
バイオマス製造機の製造、農作物栽培作業(正社員) 普通自動車運転免許(AT限定不可) ◎月143,792～167,200円	フル 1人
(株)一福	72-0006
ホール業務全般(レジ、接客、洗い場、簡単な仕込み他) 特になし ◎平日1,033円 ◎土日祝1,083円	パート 2人
加田の湯	76-3357
浴室管理、フロント受付、施設内外の掃除、買い出し、配達 特になし(経験者優遇) ◎時1,040円～1,250円	パート 1～2人
飯南町地域づくり協同組合	72-0097
派遣先により命ぜられた業務(農業・製造業・サービス業等) ◎月180,000～300,000円	フル 2人

(株)後藤建設	72-0103
現場技術員(正社員) 建設機械運転経験者 ◎月212,000～252,000円	フル 1人
建築施工管理技術者(正社員) 1・2級建築施工管理技士 ◎月252,000～302,000円	フル 1人
土木施工管理技術者(正社員) 1・2級土木施工管理技士 ◎月252,000～302,000円	フル 1人
(株)フーデック(加田の湯内ごんべえ茶屋) 080-2073-8416	
配膳および調理補助 ◎時1,050円	パート 1～2人
日本郵便(株)来島・頓原郵便局	76-2300
郵便業務(郵便物の集配)(正社員登用制度あり) 原付か自動二輪か普通自動車運転免許 ◎時1,140円～	パート 1人
窓口業務(正社員登用制度あり) ◎時1,060円～	パート 1人
JA全農Aコープ(株)Aコープエルシー店	72-1221
商品づくりまたは補充・レジ等 ◎時1,033円	パート 2人
JA全農Aコープ(株)Aコープきじま・あかな店	76-2319
店舗業務(青果・鮮魚・食品等の商品づくり・品出し・レジ等) ◎時1,033円	パート 3人
放課後子ども教室(教育委員会)	76-3944
放課後、保護者のお迎えを待つ児童の見守り (宿題等を教える必要はありません) 最初1～3日間程度は、就労体験(賃金あり)が可能 ◎時1,045円	パート 1人

冬こそ贅沢！雪の森を歩く スノーシューもおすすめ！

「町民向け森林セラピー」は、今年度延べ80人の方に体験いただきました。「長年住んでいるけれど、初めて森でこんな体験をした」と話してくださったり、リピーターになったりと、飯南町の資源である森林を普段とは違う目線で堪能していただけたのではないのでしょうか。引き続き「町民向け森林セラピー」は受け付けています。雪が降り積もった飯南町の森は、音が吸収され、空気も澄み渡る、まさに特別な癒やしの空間に変わります。スノーシューを履いて雪の上を歩く体験は、飯南町に住む私たちだからこそ楽しめる、きっと非日常の贅沢時間になりますよ。

森林セラピーについての問い合わせは、飯南町観光協会まで。ご利用については一定の条件がございますが、お気軽にご相談ください。(大上)



森のたより

(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

森林セラピー通信

12月に入り、森の木々は葉を落とし、ぐっと静寂に包まれる季節になりました。この静かな時期こそ、心身を休める森林セラピーの本質が味わえる時だと感じています。今回は、先月の大きな出来事と、この冬の取組についてご報告します。

韓国のヒーリング協会が視察に

韓国では「山林治癒」という言葉が使われており、これは日本の「森林セラピー」と同様に、森の持つ力を活用して心身の健康を回復・増進させることを目的としています。前月号でも触れた長野県信濃町は、韓国にあるまちと連携・協定を結んだという、国を超えた繋がりもあります。

今回は韓国ヒーリング協会から6名、通訳者1名の視察訪問がありました。心理学や森林生態学など各分野の専門家の方々に、飯南町の森で実際に森林セラピーを体験していただき、飯南町での取組の話や意見交換を実施。日本の和菓子に触れる体験などもしていただき、日本や飯南町の良さをお伝えすることができました。

こんにちは
中山間地域研究センターです。

“つながり”が守る、わたしたちのまち

●中山間地域研究センター ☎76-2025

<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



ホームページはこちら

10月16日(木)、来島交流センターで「防災スキルアップ研修会」を開催しました。当日は住民の皆さん、役場や社協、集落支援員など、さまざまな立場の方に集まっていたき、和やかな雰囲気の中で防災について一緒に考える時間となりました。

講師を務めてくださったのは、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の澤田雅浩准教授です。澤田先生は幼いころ、飯南町に住んでいた祖父母の家によく遊びに来られていたそうで、「飯南町には思い出がたくさんある」と話されていました。

研修では、他の地域のよい実践を取り入れる「まねっこ防災」や、普段の活動を無理なく続けていく姿勢の大切さ、そして何より、日頃の声かけや交流といったコミュニケーションが地域を守る力になることを、あらためて確認

できました。

また、復興支援に携わられた2004年の新潟中越地震などの事例をもとに、災害が地域の暮らしや人口にもたらす影響を解説いただき、地域の危険を思い描く“想像力”と、日頃のつながりや取り組みを形にしていける“創造力”、この2つのそうぞう力(想像と創造)が、防災にも普段の地域づくりにも欠かせないことを教えていただきました。



短歌

頓原公民館短歌教室

十月詠草



夏服を重ね着しては冬物を出すタイミング計る秋の日
さつまいも収穫のたびふと思う領民救った芋代官を
研修の感想熱く語る孫青空のもと新社会人
親の背を何時しか越えて社会人となりたる孫の遅しく見ゆ
ブラウスに秋を忘れた秋風が羽織らせたるは茶のカーディガン
香茸を採りに行かむと勇めども妻は許さず熊出るからと
クロスワードなかなか解けずふて寝するも気になり再度頭をひねる
神在の雨は寒さを誘いて炬燵を出づるその気になれず
花数の少ない秋の迷い咲きこれ見よがしに色鮮やかに
深沈と秋の夜更けて底深き暗がり森へと吸ひ込まれゆく

塩田美代子
奥田 博昭
本間 啓美
千葉トミエ
大野 順子
石川 隆
景山 牧栄
景山 稔
安部 徳則
鳥田 勝信

やすらぎに

11月届出分

お名前 盛政ワサミ様 親族 地区 盛政ワサミ様 (97) 聡 (川東)
三島 澄江様 (100) 利 春 (寺沢)
石田カツラ様 (91) 村上正行 (敷波)
塩田 昭弘様 (58) 真智子 (野萱)
佐和田静也様 (94) 裕 (町区)
阿部 晴子様 (86) ケイコ (町区)
藤原 久子様 (88) 稔 生 (野萱)
【お詫び】
広報11月号掲載「ルーツいいな」の名前(ふりがな)に誤りがありました。お詫びして訂正します。
(誤)平田隆成さん (正)平田隆成さん

今月の人権標語

令和6年度 「家族でつくる人権標語」優秀作品から

ごみひろい

みんながつくろう

きれいなまち



標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない
明るいまちづくりをめざしましょう。

志々小学校2年 中川 梓さん
家族名 茂芳さん 祐紀子さん

●1月のし尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	7日(水) 9日(金)
赤 名	20日(火) 22日(木)
来 島	14日(水) 22日(木)

〔クリーン株〕☎72-1401(頓原地域)
〔クリーン株〕☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を
必ずお守りください。

雲南夢ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。

雲南市
飯南町事務組合
ホームページ



●1月のごみ収集日

収集地区	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類 収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類 収集日	資源物 収集日
町区、敷波(古城・稲荷・田嶽下)	13日(火)	26日(月)	21日(水)
都加賀、奥畑、上区、花栗、長谷、寺沢 敷波(田嶽西・田嶽東・琴引中・琴引奥) 佐見、獅子、川西(谷川・西・オ谷1・オ谷2)、志津見、角井	14日(水)	27日(火)	
川東、川西(南)	15日(木)	28日(水)	
赤名(上市・中市・下市)、衣掛団地、宮ノ下団地 下赤名住宅地区	5日(月)	19日(月)	
上赤名、下赤名、谷、上来島(上来島・安江・横路)、小田真木 野萱(琴麓、町道下三日市橋)、下来島	6日(火)	20日(火)	28日(水)
上来島(杉戸)、野萱(塚原・三日市・野萱・下三日市)	7日(水)	21日(水)	

〔いいしクリーンセンター〕☎72-9217

2026

1

まちのスケジュール

📖 教育 🏠 健康・保健 🌟 文化・体育 💡 その他

1 木 元日	🌟 元旦マラソン(頓原・志々)
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	💡 官公庁仕事始め 💡 保育所始め
6 火	
7 水	📖 飯南高始業式
8 木	📖 町内小中学校始業式
9 金	💡 行政相談(さつき会館) 💡 飯南スマホ教室(交流センターとんぼら)
10 土	
11 日	💡 消防出初式(みせん)
12 月 成人の日	
13 火	💡 飯南スマホ教室(赤名公民館)
14 水	🏠 オレンジカフェ(交流センターとんぼら)
15 木	🏠 1歳6か月児・3歳児健診(保健福祉センター)
16 金	📖 来島小授業公開日
17 土	
18 日	💡 「しまね家庭の日」 💡 ストーリーテリング(中央図書館)
19 月	
20 火	🏠 オレンジカフェ(赤名福島邸)
21 水	🏠 ほっと.Café 食講座【バッククッキング、防災】(来島保健センター)
22 木	
23 金	💡 はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制 📖 志々小学習公開日
24 土	🌟 飯南町スキー大会兼スペシャルオリンピックスノー大会(等引ワオレストパークスキー場) 🏠 オレンジカフェ(上赤名会館)
25 日	
26 月	
27 火	💡 飯南スマホ教室(赤名公民館)
28 水	💡 まちづくり講演会(来島交流センター)
29 木	📖 小学校一日入学(頓原・志々・赤名・来島) 💡 飯南スマホ教室(来島交流センター)
30 金	🏠 オレンジカフェ(つがが交流センター) 💡 飯南スマホ教室(交流センターとんぼら)
31 土	
(毎週火・水・金曜日) 🏠 ほっと.Café(来島保健センター)	

町の人口 4,260人(前月比-16人) 世帯数1,982戸 R7.12.1 現在



趣味はキャンプとカメラ。友人たちと家族ぐるみでキャンプを楽しんでいます。祖父母がカメラマンという環境で育った山本さん。今は育児と仕事の両立に忙しい毎日ですが、いつか自分の思い描く写真を撮るようになりたいと話します。

広島市消防局消防官として、災害対応や救助対応などの業務にあたる山本現太さん(32歳)。消防官を目指したきっかけは、高校2年生の時に発生した東日本大震災だと言います。
 「メディアを通して、被災地で援助活動に取り組む警察官や消防官の姿を目

にし、公安職に就きたいと思いました」と当時を振り返ります。
 「傷病者を病院に搬送し、感謝の言葉をかけてもらった時は、消防の仕事にやりがいを感じます。一方で、残念ながら自分の無力さを痛感する場面もあります」と山本さん。
 多くの命を救いたいと、今年から救急救命士を目指し勉強を続けています。
 仕事に打ち込む一方、休日は子どもたちとの時間を大切にしたいと話す山本さん。子育てを通して、人とのつながりが強い飯南町の良さを改めて感じたいと言います。

「都会では人とすれ違っても挨拶しないことに驚いた。飯南に帰った時、道端ですれ違う小学生の『帰りました』という元気な声が聞こえ、良いなと思いました」。山本さんの祖母は「山本写真スタジオ」を営むカメラマン。コスモス祭イベントに合わせて帰省すること。
 「おばあちゃんには山本家で一番パワフル。会うと元気になれる人。まだまだ元気に地元を盛り上げてほしい」と山本さん。町外に住んで気づいたふるさとの良さや、家族への優しい思いを話してくれました。

ルーツ
 いいなん
 53

このまちに住んでいると、なかならうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介しします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよこまで。

ふるさとの温かさを胸に、命と向き合う



やまもと げん た
 山本 現太

飯南町頓原出身。頓原中、飯南高卒業。高校では野球部で活躍。広島市消防局に入職し、現在は救急救命士合格に向けて勉強中。(広島市在住)

今日の表紙

飯南町滞在型地域交流拠点施設が完成。施設の愛称は、飯南高校生と教職員の応募の中から「三日市NノットDE」に決まりました。

「NノットDE」には「結び目」や「接点」という意味があり、この施設が高校生と地域住民との交流の場になってほしいという思いが込められています。

令和8年4月から運用開始。飯南高校生の学びと地域の活力が育まれる場としての活用を目指します。



撮影：野津研一



飯南町公式SNS

スマホで
 広報誌を
 読んでみ
 ませんか



マチイロ